

第1回 地域活性化部会 主な意見

● 子育て世帯の呼び込み

- ・地域の学校に、他の地域の学校には無い魅力づくりをする
- ・診療所に小児科を設置する
- ・他市では、ヤングサンタ（地域の青年が保護者に代わりサンタの仮装でプレゼントをお届け）や、PTA が中心となった朝ごはん提供をしている。この地域でもやってはどうか。
- ・安心して住んでもらえる住環境が必要。小児科（診療所）、親子が集まれる集客施設があれば。
- ・市営住宅に、子育て世帯が住みたくなるような特典（子どもが卒業まで住み続けられる等）をつけるなど、入居要件を緩和してはどうか。

● 景観をよくする

- ・街路樹を増やし、みどりの多いまちづくり
- ・不法広告物の撤去

● 公共交通を便利にする

- ・養父市の自家用車での有償輸送の事例を参考に、地域で取組むのはどうか
- ・NPO を立ち上げ、マイクロバスでの町内公共交通ネットワークを充実
- ・コミュニティバスのルートをまちなかを通るように改善する

● 地域の魅力・情報発信

- ・ガラス見学等で交流人口をふやし、団地の空き室を工房等として使い定住人口増につなげては。
- ・テレビ取材は地域魅力を発信する好材料
- ・コストをかけずに発信する手段としてインターネット（HP、Youtube、SNS）を活用しては

● 地域の資源を活かす

- ・（公共）施設の運営をやる気のある住民に任せて、柔軟な発想で運営していく
- ・地域の魅力的なものがそろっているので、それらを元に「地域ブランド」をつくっては
- ・空き店舗を、住民で管理する小さな図書館にする
- ・小栗の湯で食事が取れるようになれば魅力増・交流人口増になるのでは

● 定住促進に向けて

- ・住宅地なので雇用が生まれにくい、例えば女性が一日 2～3 時間働けて、月 5～6 万円の収入になればおおきな魅力になる
- ・道路の安全性を確保するなど、住みやすさが大事

● 地域活性化全体の方向性

- ・優先順位を付ける必要がある
- ・建替えの予算の地域活性化活動の予算に振り替えるのも一つでは